

開催日時	令和6年3月15日(金) 19時00分～20時50分
開催場所	web
出席者	間瀬、山本、木澤、小森、小山、永嶋、正木、山口、伊藤、井貫、桑山、成田、中谷、熊谷、藤、有吉、樋笠、水田、中川、岩井、鮫島、松本
欠席者	岩田
記録者	中川
議題1	来年度事務職員の紹介
【内容】	松本秀樹氏 今までの経験をもとに理学療法の発展に自分の力が発揮できればと思っています。
議題2	会長報告
【内容】	JRATの会議が週に2回くらいある。兵庫としてはそれなりの仕事が出来ている。 2月23日兵庫医療職団体協議会研修会。 2月26日協会代議員推薦の調整。 3月6日参議院議員講演会活動説明会に参加。 3月6日 認定スクールトレーナー公募に関する調整。 応募が27名あったため、選考基準を作成した。 3月7日参議院議員秘書と相談。 理学療法士とは現状の問題などの勉強会日程内容について相談した。 資料調査部のアンケート結果も作成している。
議題3	審議事項:代議員・理事会連絡会の予算案について
	交通費、会場費、お弁当代、日当費など。 合計302000円 まずは対面で回って丁寧に説明したい。 その後はリモートでも構わないと思っており、今度ずっとこの予算となる訳ではない。
【決定事項】	承認。
議題4	審議事項:生涯学習部の予算案の修正について
【内容】	生涯学習部の新人研修会の追加予算。 理事の謝金は除外した。 合計716000円で最終となった。
【決定事項】	承認。
議題5	審議事項:旅費及び講師謝礼等、諸手当支給規則 変更案について
【内容】	アーカイヴ掲載料 30分、60分、90分、120分で分けています。 アーカイヴの掲載料は新しいため見当がつかなかったため、このくらいかなとしました。 謝礼のランクに専門・認定理学療法士、登録理学療法士を追加。 謝金規定、協会でも考えている途中なので、今回は提示したもので行きたいと思う。
【決定事項】	今年度はこれで収束。今後何かあれば検討していく。ラインワークスで部長、会計に流す。単価の改定が必要になる部、委員会は25日までに修正案を会計担当に提出。
議題6	審議事項:感染対策指針ver.5について
【内容】	兵庫県士会活動における感染予防対策ガイドラインver.5に5類になったため最後の見直しを行った。 アドバイザーに確認してもらっている。4月の理事会に最終的な審議をしたい。 大きくは濃厚接触者の取り扱いがシンプルに変更された。 マスクなども変化している。ラインワークス上でのやり取りもするかもしれない。
議題7	審議事項:認定スクールトレーナー制度推薦者に関して
【内容】	応募28名があった。

推薦候補者4名の中から1名を選びたい。	
【決定事項】 推薦者1名をを決定。 選外となった応募者には一般枠のこともお知らせする。	
議題8	協議事項: 能登半島地震支援チームの費用弁済について
【内容】 会員の負担の軽減のために、費用弁済については先月承認してもらった。 前泊の費用が出ないことや宿泊しているところが病院のリハ室であったりすることからカバーできていないところもある。そのため県士会から持ち出しを。 1日3000円県士会から出すと一人12000円程度、全員が希望すると25万円程度になる。	
【決定事項】 他職能団体との関係から今回は県士会からは出ない。	
議題9	協議事項: 日本理学療法協会 拡大都道府県組織運営協議会について
【内容】 会長、事務局長が参加する。 傍聴が出来る。理事以上上限10名。本日中に希望者はご連絡ください。	
議題10	協議事項: 令和6年度県士会総会日程について
【内容】 6月30日時間は未定。 新人研修会の終了時間12時15分くらいを予定している。 13時までは会場で押さえているので、それ以降。 13時30分開始を考えている。 教室で行う。	
議題11	審議事項: 周産期理学療法士に対するリーフレットについて
【内容】 妊産婦理学療法に対するリーフレットを作成しました。 タイトル「妊産婦理学療法士の健康と安全に配慮するための就業環境ガイドライン」 妊産婦だけでなく、その周囲の人を対象としている。 印刷するとA4用紙裏表で3つ折りにするように想定しています。 ホームページへの掲載、県学会などでの配布をして広げていきたいと考えている。	
【決定事項】 絵の著作権が大丈夫か、タイトルの「ガイドライン」というところの変更。著作権の文言の3つを再検討し来月の再度審議事項に挙げる。	
議題12	受講証明の件について
【内容】 受講証明を出してほしいという問合せが来た。 政治的な話の研修会だったので、それで出してもいいのか。 →問題ないと思われる。	
議題13	報告事項
生涯学習士会担当者意見交換会 「登録理学療法士の取得を促進するための取り組みについて」 各県士会からの見直しで登録理学療法士の周知にいろんな意見が出ている。 協会としては広報ツール案は入会1から3年目施設会員代表者と登録理学療法士の2種類を考えている。 登録理学療法士を取得するメリットが出されていないので、取得の促進が出来ていないのではないかと意見が出ていた。 士会承認症例検討会の開催について 開催の頻度を増やしていきたい 近畿圏では大阪が圧倒的に大きい。 カリキュラムコードの見直しはしているが、次回の更新時になると思われる。 (間瀬) 根底に事務手続きの簡素がある。協会に会員にとってのメリット(デメリット)ということを言い続けてほしい。	
次回の予定	日時: 4月19日
日時・場所	場所: web
今後の予定	